

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例9

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、急性下顎骨髓炎疑いの患者。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（オプチレイ）。CT検査室で発症。
- ・ 過去の薬剤アレルギー情報は、不明。
- ・ 造影剤注入から1分後、不快を訴え、薬剤投与を中止するが「苦しい」としかめ顔になり、上半身紅潮が出現。初発症状から1分後、血圧測定不能。3分後、緊急コール。顔面、両上肢に発赤を認め、5分後、呼名反応なく、アドレナリン0.5 mgを筋肉内注射。10分後、2回目のアドレナリン0.5 mgを筋肉内注射。14分後、心停止となり救急処置を実施するが、翌日に死亡。